

各位

再生医療研究センター長
(公印省略)「琉球大学 再生医療研究センター施設」使用者募集について
(第四次公募)

再生医療研究センターは、産官学連携活動に資するため、再生医療研究センター施設利用者を琉球大学医学部再生医療研究センター西普天間キャンパス共用研究スペース運用内規に基づき募集いたします。

1. 募集する施設の概要

提供スペース：共用研究スペース 3室

- (1)細胞調製室1 (22㎡)、DGW (2.9㎡)、二次GW (4.1㎡)
- (2)細胞調製室2 (20.5㎡)
- (3)細胞調製室3 (25.1㎡)

※配置図を確認されたい場合は、下記「ご質問等お問い合わせ先」にご連絡ください。担当より、データをお送りします。

※整備機器以外に必要な機器等がありましたら、使用者の負担で設置・搬入ください。退去時は、原状回復ください。

※特定細胞加工物製造許可の取得を希望する場合、関係機関への申請は、入居者にて行っていただきます。特定細胞加工物製造許可を取得せず、研究施設として利用することも可能です。

※共用研究スペースのバリデーション・サニテーション、外調機清掃は、入居者にて実施（委託先の選定・契約・支払い）いただきます。施設使用にあたり、人件費を除くランニングコスト（施設使用料、バリデーション・サニテーション費用、外調機清掃費用、光熱水費等）は、年間2,000万円程度の支出が想定されます。あくまでも旧キャンパス施設の実績額にて試算していますので、目安としてご理解ください。

2. 使用料・整備機器

各部屋の料金及び整備機器は、以下のとおりです。

※使用される共用研究スペース（細胞調製室1～3）の施設使用料に加え、共用スペース（細胞保存庫、エアロック1～2、更衣室（男女）、受入検査室、倉庫1～2、DGW、二次GW、搬出エリア、前室2）を使用される場合は、共用スペースの施設使用料も負担いただきます。

※使用料は、「琉球大学医学部再生医療研究センター西普天間キャンパス共用研究スペース運用内規」に基づいており、本法人が指定する方法で支払期限までに納入いただく必要がございます。

利用形態	施設使用料	整備機器
	料金（月/㎡）	
細胞調製室1 (29㎡)	4,400円/㎡	バイオハザード対策用キャビネット 1台 CO2インキュベータ 2台 フリーザー付薬用保冷庫 1台 多目的冷却遠心機 1台
細胞調製室2 (20.5㎡)	4,400円/㎡	アイソレーター 1台 ワークエリア内コンセント用電源 1個 冷却遠心機 1台 CO2インキュベータ 4台 フリーザー 1台

細胞調製室 3 (25.1㎡)	4,400円/㎡	アイソレーター 1台 細胞観察モジュール、操作用PC・モニター 1式 ワークエリア内コンセント用電源 1個 冷却遠心機 1台 CO2インキュベーター 3台 フリーザ付薬用保冷庫 1台
細胞保存庫 (8.8㎡)	3,410円/㎡	超低温フリーザー 2台
エアロック 1 (5.3㎡)	3,410円/㎡	
エアロック 2 (17.4㎡)	3,410円/㎡	
更衣室 (男) (3.3㎡)	3,410円/㎡	殺菌線消毒ロッカー 1個 除菌スリッパボックス 1個
更衣室 (女) (3.3㎡)	3,410円/㎡	殺菌線消毒ロッカー 1個 除菌スリッパボックス 1個
受入検査室 (8.6㎡)	3,410円/㎡	
倉庫 1 (6.4㎡)	3,410円/㎡	高圧蒸気滅菌器 1台
倉庫 2 (12.1㎡)	3,410円/㎡	薬用保冷庫 1台 メディカルフリーザー 1台 超低温フリーザー 1台
DGW (2.9㎡)	3,410円/㎡	
二次GW (4.1㎡)	3,410円/㎡	
搬出エリア (3.8㎡)	3,410円/㎡	
前室 2 (6.1㎡)	3,410円/㎡	

1. 「琉球大学医学部再生医療研究センター西普天間キャンパス共用研究スペース運用内規」第3条(10)に規定する施設維持管理費には、細胞培養施設の使用及び管理のための光熱水料、バリテーション・サニテーション、外調機清掃の費用が含まれ、琉球大学を含めた全ての研究チーム（細胞調製室の使用単位）で按分して負担する。ただし、年度途中から使用（入居）の場合は、その期間を考慮するものとする。
2. エアロック・更衣室・受入検査室・倉庫・DGW・二次GW・搬出エリア・前室は、共用として使用する部分であり、施設使用料は琉球大学を含めた全ての研究チーム（細胞調製室の使用単位）で按分して負担する。ただし、年度途中から使用（入居）の場合は、その期間を考慮するものとする。

3. 入居期間

【5年以内です】例：令和7年4月1日～（最長）令和12年3月31日

※入居開始日は入居者の決定時期により、変更となります。

※期間終了後も引き続き使用を希望される場合は、改めて申請書を提出ください。

4. 応募資格

①琉球大学の教員

②琉球大学の学部学生、大学院学生、研究生、研究生及び医員（琉球大学の教員を研究代表者とする研究チームに加わる場合に限る）

③民間機関等の共同研究員

④本学の有する研究成果及び技術、ノウハウを用いたベンチャー企業の構成員

⑤その他沖縄県における健康社会の実現と再生医療の産業化推進に貢献するものとセンター長が認めた者

※③～⑤に該当する者については、琉球大学の教員を研究代表者とする研究チームに加わる場合を除き、琉球大学の教員を研究監督者としなければならない。

5. 提出書類

以下の書類をメールでご提出ください。複数室の使用申請を行う場合、申請書は希望する部屋毎に作成しご提出ください。

【応募資格①、②に該当する場合】

- ・琉球大学医学部再生医療研究センター共用研究室等使用申請書
- ・琉球大学医学部再生医療研究センター共用研究室等令和7年度活動計画書

※外部資金の獲得を申請書等に記載する場合は、採択通知書等のエビデンスも添付してください。

【応募資格③～⑤に該当する場合】

- ・琉球大学医学部再生医療研究センター共用研究室等使用申請書
- ・琉球大学医学部再生医療研究センター共用研究室等令和7年度活動計画書

※特定細胞加工物製造許可を申請する予定がある場合は、申請が必要な理由を「5. その他・特記事項」に記入ください。

- ・登記事項証明書
- ・財務諸表類の写し（直近のもの）
- ・国税、県税及び市町村税に係る納税証明書（発行から3カ月以内）
- ・会社概要（パンフレット、ウェブサイトのURLでも可）
- ・その他、申請に際して必要と思われる資料等

6. 募集期間

令和7年9月24日（水）～ 入居者が決定次第、終了

7. 選考方法

- ①再生医療研究センター運営委員会にて使用者を選定し、使用申請代表者に採択通知書を通知いたします。
- ②審査の過程で面接審査を行う場合があります。必要と判断した場合には、使用申請代表者へ別途連絡いたします。
- ③審査の観点
 - A. 産官学共同研究の推進：本学使用責任者と共同研究先の企業等との間で、共同研究、共同研究の萌芽的なプロジェクトが計画され、または実施されており、今後の発展が期待できるか。
 - B. 琉大発ベンチャーの創出：(1) ベンチャー創出を目指す提案の場合、本学使用責任者と共同研究先の企業等との間で、本学の研究シーズを核にしたベンチャーの設立に向けた準備がなされ、設立に向けた具体的な取り組みが進行しているか。(2) 既に設立されたベンチャーが入居する場合、本学の中にオフィスを構える必要があり、本学研究者との間で具体的な研究開発プロジェクトが計画され、また実施されているかどうか。
 - C. 琉大の研究成果の社会還元：社会を構成する多様なセクターと連携し、大学の知を活用した新たな事業やプロジェクトが計画されており、本学使用責任者と連携機関の組み合わせにより実際に計画を実施できるか。

8. その他

- ・建物への入館は、24時間可能です。
- ・医学部実験実習機器センターの機器の一部をご利用いただけます。詳細は、以下のサイトにてご確認ください。
<https://rlc.med.u-ryukyu.ac.jp/>

【応募・お問合せ先】

書類提出先： 西普天間キャンパス事務部管理課資産管理係 與那嶺

Tel：098-894-1341

Mail：ikksisan@acs.u-ryukyu.ac.jp

お問い合わせ先： 西普天間キャンパス事務部企画課企画・研究推進室研究協力係 翁長

Tel：098-894-1366

Mail：igzknkyusen@acs.u-ryukyu.ac.jp